

# 金杉小学校・耐震診断の結果 体育館大規模改修



## 12月定例議会

平成22年12月定例議会は11月25日から12月8日までの14日間開催された。平成22年度一般会計補正予算など16議案の全てが可決された。

一般会計補正予算・金杉小学校  
耐震補強大規模改修

### 主な質疑

問 吉田 耐震補強の大規模改修設計委託料1千万円の経過と今後の事業の進め方は。

答 まちづくり整備課長 平成22年当初予算で耐震診断を計上した。10月に結果が出て、金杉小学校屋内運動場の耐震補強の必要性が確認された。最終的には建築分野の学識経験者で構成される既存建築物耐震性の判定委員会に諮って決定した。

問 教育総務課長 大規模な工事となる。国の補正が通過したので補助金を現在申請中である。

答 吉田 国の補正予算に連動した補助金の申請をしているが、来年度に

実際に補修や改修事業が行われる方向で取組んでいるのか。

答 教育総務課長 町は平成23年度工事を目標としている。ただ国・県の動向などを見ながら結果待ちの状況である。

### 採決の結果 全員賛成

### 町立保育所の定数を15名削減

#### 主な質疑

問 山崎(善) 定数減の理由は何か。

答 福祉健康課長 民間保育所で定数拡大しているのので、安定運営のため減数とする。町全体の保育所入所定員は420名で年度当初より65名の増加となっている。

問 山崎(善) 待機児童はでないか。

答 福祉健康課長 1月から受けつけ開始するので状況を見ないとわからない。現在は、0歳児10

名、1歳児6名、2歳児15名、3歳児0、4歳児1名、5歳児0の待機がある。その内訳は、1園のみ希望者14名、2園希望者5名、3園希望者5名、4園希望者7名、どこでも良い方1名となっている。

問 広沢 定員90名から75名に削減されるが職員数の減にならないか。

答 福祉健康課長 障がい児保育も実施しているので減にならない。

問 莊子 民間保育所経営基盤安定が今後も町の考え方の基本となるのか。

答 福祉健康課長 町の行政財政改革大綱の中でも積極的な民間委託、民間アウトソーシングの活用を進めることになっている。土地は20年間お借りできるが、子供の数や入所状況を見て、町立保育所の必要性を検討したい。

#### ◆町立保育所の定数の変化◆

0歳児…2名→3名  
1歳児…6名→8名  
2歳児…12名→12名  
3歳児…20名→15名  
4、5歳児…50名→37名  
合計…90名→75名  
その他…障がい児保育(必要に応じて)一時保育を実施( // )

#### ◆民間保育園の定数◆

みどりの丘保育園…60名  
ゆたか保育園…100名→165名  
かしのき保育園…60名  
こどもの森保育園…60名

#### 採決の結果

賛成13人  
○新自民クラブ  
○山崎(善)、飯島(善)、山崎(正)、山崎(止)、山崎(渡辺)  
○新政治クラブ  
○高橋(佐藤)  
○町民クラブ  
○堀越(長谷川)  
○公明党  
○南田(佐々木)  
○日本共産党  
○吉田(広沢)  
○福井(新政治クラブ)  
○反対1人